

刊夕 日四廿月七

# 常磐寄日新聞

定額 五錢五分 月刊五錢 郵費五錢  
廣告料 五錢 十二字 一頁 五錢  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社  
電話 六三〇  
社址 福島県郡山市常磐町三三

## わらべ歌斷想

岸田定雄

(四)

諸有司國君の機嫌を奉伺したから、この日を一般的に忌日としたといふのである。しかし、徂徠の説も納得できない、頼朝開幕以來將軍の二十八日に歿した人はたゞ十三代將軍足利義昭のみで、これとて秀吉全盛の時、この説はすぐ覆る。甲斐武田方で朝に日を拜し、望に月を禮すが、たゞ星を祭る日がないから、二十八日宿(宿は星座)に因んだ二十八日に星を拜がまうと言つて「今日は二十八日星座の用事」と語られたのがなまつて遂に「今日は二十八日御尻の御用心」と

## ノート

靴の敷皮は時々取り出して揮發油で拭いておけば臭氣を發せず、穿き心地もよく、靴下の汚れも少い。なつたといふ。も一つ人神の在す所を三十日に配してみると二十八日は人神陰にあるといふので人身下部に鍼灸すること其他大いに慎しまねばならないことを意味したものであるといふ。一日、十五日、二十八日

は古くから祭日、忌日とされてゐた。二十八日に意味づけやうとするならさうむつかしく考へなくとも月初月中月末と考へればよい併し三十日に持つてゆかないのが曲者である。二十八日は語呂がよくないので、二十九日がほんとうではないか。

## 明日の献立

【朝】 味噌汁・冬瓜 にと付ぶどう豆  
【晝】 茄子鍋しぎ焼き  
【晩】 お刺身 鰹

いか。徂徠先生折角の考證も臺なしではあるが、三十日は借金取りが来る。昔の人が借金を取をどれば恐れたか、川柳や西鶴の世間胸算用などをよんで見ればよく、伺はれてゐるが、その三十日の一日前二十九日に明日の尻拭ひの御用心が子供に歌はれ出しかと考へてみたが、あまりにうがちすぎてゐる氣がする。なほ二考三考しやう。

私の母は大和陀郡松山町近くの生れではあるが、母は小さい時「大阪から狀が来て尻まくりはやつた」と言つたといふ。狀は飛脚が持つてくる書狀のこと、これは懐かしい昔のことを思はせる。片舎に田大阪から

書狀が来たといふのであるから何だらうかと好奇心を起すのは十分である。これなどから考へてみると尻まくりといふことだけはどのものにも共通してゐる。子供つて元來おどけ者で、すましてゐるかと思ふと案外尻まくりはやつたなどと他人様のお尻をまくし上げるやうなことを敢てする一面を持つてゐる。何故尻をまくるか。今はよほどの片田舎でない限り、學童は洋服を着てゐるし、それに船場島の内あたりのお嬢さん

がもし和服を着てゐたとしても、そんなことしたら、それこそ事である。そんな事はお上品な紳士淑女的禮待をさへ心得た彼や彼女達のなすべき筈はない何故まくるか。この面白い遊びを忘れねばならないとは又災なるかな。母から聞いた二三を左に記さう。  
「がはさんかはさん。今日吹く風は、大津いきこえて大津はおんま、河内はいづみ、いづみのとのさん、弓やもつてまひとかへりかへりましよ」こんな歌は歌はないやうであるが、もう一かへりかへりましよといふ遊戯は尙行はれてゐる

新特約 三菱ノ……  
菊菱號自轉 (全部マーク入) 實用堅牢車  
平局御用 エビスヤ自轉車店  
平南町 電話六六四番

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します  
平町町九六  
喜多流 謠曲 仕舞 白土會  
◇詳細は本會へ御問合せ下さい 電話二七番

## 体温計の検査日です

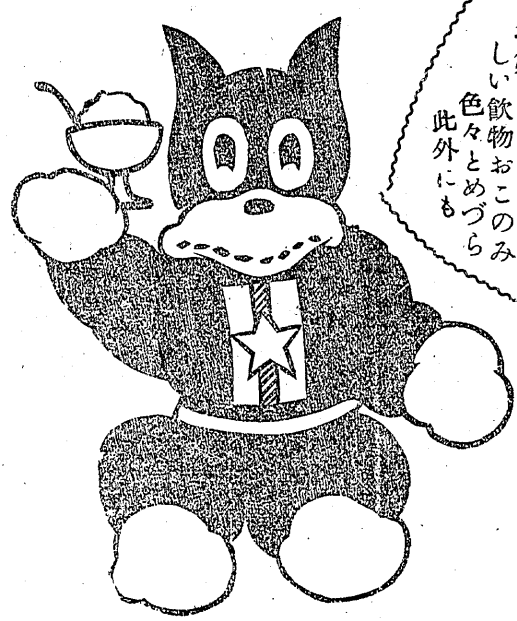
10日 検新 機設 お宅の體溫計は?  
◎正確な體溫計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい  
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局  
計量器 電話三番

## 中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

みるからに! 涼しそうな……夏季の必需品  
氷水屋のれん  
一般家庭向カーテン 1枚0,20=J  
各種取揃へました是非お求め下さい  
スガノヤ提灯店  
平四 電九五番

毎度有難う御座います  
今年も相變らず始めましたから御涼みがてら何卒御立寄り下さい。  
御待ちして居ります。  
アイスクリーム アズキアイス  
ミルクケーキ ソーダ水 ミツ豆  
次第ございます  
しいし飲物おこのみ  
色々ともぐら  
此外にも



平二警察署通り  
魚清食堂部  
電話六三三番

## 耳鼻喉科専門

入院 應需  
平町町七〇番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
電話六九一番

# 絶好の薄陽下に

## 一日目の白熱戦

### 地元軍何れも大勝す

けふの大会第二日は薄陽渡る絶好の野球日和に恵まれて警中湯本、古河の三球場に開かれた我等の地元軍警中、小野の連続安打に警中早くも二点を先取之が決定的なものとなり遂に二對零で警中勝ち、平商は田中と顔を合せロード・ゲームで大勝、第三次戦安中對福商戦は安中の追撃凄く十

### 草野、小野の好打

#### 警中に凱歌擧る

2-0 若商恨みを呑む

警中球場第二次戦警中對若商の試合は午前八時から小島、永澤、吉木三氏審判で若商先攻で開始したが地元警中の出戦とて観衆應援は物凄く

△第一回若商三者凡退、警中一死満塁の時小野遊撃背後に快打し草野、阿部生還白澤、柏原とのスクイズは捕飛となり併殺されたが二点を先取す、二、三、四回兩軍三者凡退を続け△五回若商大室三遊間に最初の安打を放つたが西澤捕邪飛、大室二盗成らず小野崎三振を得

四對九で安中快勝、福中對雙中戦は福中前年度覇者の貫録を示し堂々と勝ち、福師對會中戦は福師勝ち、午後から福中對保中、警中對平商の第三次戦が警中、湯本球場で舉行され、かくてこの二戰の勝者は安中、福師ともにあすの準決勝に臨むわけは弱者は果して何れぞ！(午後一時記)

對零の接戦で警中に凱歌揚る、閉戦九時半
中 2 0 0 0 0 0 0 0 0 A 2
若商 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0 A 2

【警】 兄弟野澤野原羽川坂
【中】 阿部阿百小柏高石上
【若】 左(遊)一(中)投三(右)二(投)
打安三三三三三三三三三三
29 3 3 1 0

【若】 米山山室澤崎川川原
【中】 丑下石大西小涉皆石
【若】 左(遊)一(中)投三(右)二(投)
打安三三三三三三三三三三
29 1 8 1 0

### 湯本球場の福中勝つ

9-4 双中振はず

双中對福中の試合は午前八時十五分より湯本球場で舉行九對四のスコアで福中勝つ

中 0 0 0 0 0 6 0 1 2
福 0 0 0 0 0 0 2 0 0
0 0 2 0 0 0 2 0 0
4 9

### 福師對會中

6-4 湯本球場

湯本球場に於ける第二次戦會中對福師の野球戦は午前十時十分より會中先攻で開始六對四で福師勝ち

福 1 0 0 0 0 3 1 2 A 6
中 1 0 0 0 0 0 0 0 3 4

### 平商の盗塁成功

十二對零で田中を撃退

今大會第二次戦平商對田村中學の野球戦は午前八時十分から古河球場で鬼川(球)島津、長澤(壘)三氏審判の下に平商先攻で開始打撃は平商の森下三壘打一本をカッ飛ばしたので共に振はなかつたが、平商は田中の投手がコントロール悪くイライラするのを機に盗塁成功、遂に十三對零の好スコアで大勝、閉戦十時五分

田村 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
平商 6 0 0 1 0 5 1 13 0

【平】 木橋澤 木坂田下野
【田】 左(右)捕(中)投(三)一(遊)二
打安三三三三三三三三三三
63 3 1 8 0 10 0

### 安中對福商

14-9 警中球場

警中球場の第三次戦安中對福商の試合は九時五十分から永澤、小島、吉木三氏審判で安中先攻で開始

中 0 3 0 1 0 5 0 0 0
福 0 0 0 2 0 4 3 2 3
14 9

からの返球左投二にアウトと見えたが捕手の落球に危く生き大野三進大堀中前安打に大野還り清野左翼線を抜く、二壘打に大堀も還り野手弾いてゐる間に清野三進宗形三振に止んだが此回安中四点を挙げ逆二点をリードして意氣揚る、(福商)高橋、佐藤の安打と四死球二タイムリエラーと投手暴投二のつて一舉五点を獲得して優勢を誇る

△一回(安中)二死後前川三振ナットアウト捕手悪投に一舉二進、關根の中堅前安打に本壘に殺到、中堅手小松の好送球に壘寸前で憤死△二回(福商)高橋右翼線を襲ふ二壘打、佐藤の遊間に三進して刺れ次打者龍造寺川村共に四球で一死満塁(安中)投手清野前川二壘、二瓶遊撃となる、萱間四球で佐藤押出されて生還、小田三振飯口遊野手選擇となり龍造寺還り、長尾四球に川村も還る中村中飛に止んだが福商の待球主義奏功し安中投手の不調に乗じて三点を先取して氣を吐く

【福】 松口尾村橋藤寺村間
【中】 小飯長中高佐龍川萱
【安】 野像澤根瓶邊藤野堀
【中】 清宗藤關二渡伊大大
【安】 左(投)一(二)右(三)捕(中)
打安三三三三三三三三三三
74 7 3 4 0

△小役員 二十才 尋卒  
給料面談  
△女中 十五才 高卒 給料面談  
△配達夫 廿二才 高卒 給料面談  
△雑婦 四十九才 無學 給料面談  
△女中 三十六才 尋卒 給料面談

△材木町三九 助川長次氏 二男邦治郎  
△平町 人 事  
△出 生  
△警中球場(第三次戦)  
中 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
保 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
福 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1

△湯本球場(第三次戦)  
中 2 1 0 0 1 0 0 0 0 4  
警 1 2 3 4 5 6 7 8 9  
平 2 0 0 0 5 3 1 0 0 11  
(球審天地、壘審藤田、鬼川)

△月見町二七 小川常右衛門氏三女シヅ子  
△一丁目二〇 當時横濱市中區唐澤八遠藤宏氏長男 滋  
△大工町二五 上野賢一氏 四女智子  
△茨城縣上野合村字秋葉服部謙太郎氏(二八)立町八 阿部スミ(二四)  
△神谷村字岸田中正平氏(二八)研町一四高野カツ(二九)

△外交員 三十以上 高卒 給料面談  
△雑役 二十才位 尋卒 年七八十圓  
△女中 二十才 尋卒 月

△平職繁紹の所轄  
△人を求める方  
△女中 二十才 尋卒 月

△人を求める方  
△女中 二十才 尋卒 月

# 悪天候で

## 傳染病流行の徴

平地方は悪天候に災されて疫病、赤痢等の傳染病が最近擡頭し本月に入り隔離病舎に收容された者は赤痢一名、疫病四名に達したと

## 初貯藏の倉庫助成

### 九ヶ町村決定

既報郡農會では豫て郡下各農村より申請中であつた本年度初貯藏倉庫建設の助成

## そろく稲作心配

打ち續く變態的梅雨模様

## 郡農會の注意書

郡農會では變態的な梅雨模様のため稲作の分蘖期に當つて稲の生育上支障を來すを懼れ近く除草灌漑排水、施肥、病害防除等に就いての注意書を各村に配布する

## 植田農庫

### 上棟式舉行

植田町農會では去月末舊警署跡五十坪に工費八千圓で農業倉庫を起工中であつたが此程大體の基礎工事を終つたので来る廿六日上棟式を舉行する事になつた

## 綴の八坂祭禮

村大字綴字秋山境内に鎮座

## 奉祝舞踊

### 劇的舞踊

### 表忠碑地鎮祭

既報江名町泉崎海岸を飛行中墜落惨死した故増田作治少佐の表忠碑は園田男爵の主唱で来る廿二日午前十時から同海岸に河野町長以下百餘名列席地鎮祭を行つた

## 兩縣下水害地の罹災民に寄附金

平町では石川、富山兩縣下に於ける水害地罹災民に義捐金を送る事となり近く全町廿八區から寄附を集め百圓の見舞を來月一日發送する

平町では石川、富山兩縣下に於ける水害地罹災民に義捐金を送る事となり近く全町廿八區から寄附を集め百圓の見舞を來月一日發送する

## 平商庭球部

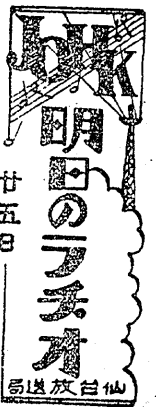
### 決勝で破る

必勝の意氣物凄く室原教諭引卒の下に縣下大會に出場した平商庭球部木田、塚本組、本田、岩本組は力戰奮闘の結果共に準決勝戦迄臨んだが戦ひ利あらず決勝戦

## 朝顔の品評會

### 八月中旬頃平第二校に

平第二校では情操教育の一端にもと校庭の園藝壇に朝顔の種を播いてその苗を各家庭と學級に分配培養させたが結果頗る良く順調に發育してゐるので来る八月中旬の開花季を期し品評會を



廿五日

今晚も明日も南西の風晴曇半す

今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
歌のお稽古七月號特選童謡ダン遣子  
後六、二五 講演「防空訓練の必要」陸軍中將古莊幹郎  
後七、三〇 講演「暑中休暇の利用」文學博士春山作樹  
後八、〇〇 ラヂオ風景エッセイサークル  
後八、三〇 説教師葛の葉若松若太夫  
後九、〇〇 合唱と管絃樂新交響樂團練習所より中繼

「世相と文學」(一七)本間久雄  
後六、〇〇 子供の時間  
お話人徳めぐり(四)醫學博士 宗文江  
後六、二五 講演「近畿防空演習に就て」第四師團長陸軍中將 寺内壽一  
後七、三〇 講演「民俗傳説の研究」柳田國男  
後八、〇〇 京城より朝鮮音樂張鶴仙外  
後八、二五 講談松林右圓  
後八、四五 浪花節「田宮坊太郎」春野百合子

## 玉川村の建碑

小學校長として在職卅年に及び昭和四年退職した同村中島清海氏(八)の爲めに今回玉川村では豫算三百圓を以て頌德碑を小學校庭に建立し十一月頃盛大な除幕式を行ふべく目下村有志が寄附金の募集中

## 水産試験場の新築敷地決定

### 第一虎眼治療

既報小名濱町縣立水産試験場は二萬圓の豫算で築港埋立地内務省築港事務所附近二千坪に移轉新築する事に大體決定し目下内務省仙臺出張所に交渉中であるが是れが確定すれば九月上旬に起工し遅くも明年一月迄には落成すると

## 匡工の土地買収で登記の件數が増加

平區才判所登記所に於ける上半期の交付件數は四千四百二十九件登録税一萬六千四百四十四圓二十五錢で昨年の同期四千六十五件登録税一萬三千三百八十五圓三

## 裁判所たより

△双葉郡龍田村大字井出字木屋一七七自動車運轉手續城藤治(三)は去る五月九日夜九時半頃無検査の乗用自

## 木村科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

自動車運轉自動車取締法違反として罰金貳拾圓に本日平區才判所に於て略式命令を以て處分された

## 磐女庭球出發

庭球部選手渡邊、熊組及び大越、瀧組は明日會津高女コートに於て開催される縣下大會に出場の爲め今朝平

# 浮名新立音頭

(藤野野上段及上巻)  
田邊南龍(作)  
山本英春(書)

方や櫻川此方黒鷲  
イヨ〜此處が一番と云  
ふところになつて櫻川は友  
禪の衣類天鵝絨の布團を以  
て東の溜りへ乗り込んで参  
り黒鷲勘太夫は西の溜りへ  
乗り込んで参りました尤も  
櫻川は年廿三歳愛嬌溢るゝ  
ばかり、黒鷲は色黒く髯面  
の醜男で、行司と云ふはそ  
の頃ほひ木村庄太郎と云ふ  
上下を着用して軍配を持ち  
土俵へ上り福包みは勿論カ  
チリ〜と拍子木打つと  
「東〜櫻川〜西〜黒鷲〜」  
と云つて呼び上げると一

九一  
思つて見て居る内に土俵へ  
擔いで上つて来た物を見る  
と立派な化粧廻しでありま  
す、狸々排岩に櫻の模様を  
縫はせ、花が半ば開き水の  
流れ、裏は蜀紅の錦金米を  
以て四方を繋ぎ、金糸の繩

出したによつて、一同は深  
々としてゐる  
「東西〜、金百兩化粧廻  
し一筋、下谷御最負様櫻川  
へ下さる」  
「ヤア櫻川が貰つたんだ：  
ヤイ十郎左衛門最負といや  
がつて、偶にヤア廻しても  
拵へて遣れ、汝などは最  
負の引倒しだ、口惜くもこ  
んな事が出来るかい、旗本  
やコッパ大名にや真似も出  
来やアしねえ、ヤイ文巴か  
雲齋でも拵へて遣れ、汝  
なんぞにや蜀紅の錦なんぞ



「櫻川：櫻川」  
と云つて居る  
「東西々々々」  
といふ聲が見物の耳へ貫  
くやう  
「東西々々段々番數も御覽  
に入れまする……方や櫻川  
々々、此方黒鷲々々この勝  
負にて今日の打留左様御承  
知下さりますよう」  
と云ふ聲は漂々として耳  
へ貫くばかり  
「この相撲一番だ、早く勝  
負を付けろ」  
付けろと云つて居る内ま  
た拍子木を打つて  
「東西々々々」  
見物一同は何んだ何ぞと

捻下られて即ち櫻川と讀ま  
せる  
「大層立派な物が出たぢや  
ねえか」  
「何處から櫻山が貰つたん  
だ」  
と云つて居る内に、又も  
其處へ目八分に目錄を持

は拵へ切れないから、雲齋  
が丈夫で好いや、今立上ら  
うと云ふ際へ二百兩も遣つ  
たが宜からう、遣れめえ意  
氣地なし」  
此言を聞いては水野十郎  
左衛門  
「怪しからん事を云やアが

るサア皆んな懐中の金子を  
出し玉へ義理にも遣らなく  
ちやアならない」  
「承知いたしました」  
と近藤登之助を始めとし  
て一同の者が五兩十兩と出  
し合ふ事にいたして  
「アイ〜松平新十郎殿、  
貴殿は如何程……」  
「貴公は」  
「拙者は三兩」  
「オ、長坂氏貴公は如何程」  
「天下の旗本が金子を持た  
んで来る筈はない、此金は  
俺がかういふ事に使はうと  
思つたのではない……が詮  
方がない、御返済には及ば  
んによつてお使ひなさい」  
「如何程ある」  
「一分」  
「一分ばかり仕方がねえ」  
「東西々々金百兩、紺屋町  
御最負様より櫻川へ下さる  
……」  
この金は山脇莊右衛門と  
云ふ劍術の先生の遣ひ物で  
ある。

出したによつて、一同は深  
々としてゐる  
「東西〜、金百兩化粧廻  
し一筋、下谷御最負様櫻川  
へ下さる」  
「ヤア櫻川が貰つたんだ：  
ヤイ十郎左衛門最負といや  
がつて、偶にヤア廻しても  
拵へて遣れ、汝などは最  
負の引倒しだ、口惜くもこ  
んな事が出来るかい、旗本  
やコッパ大名にや真似も出  
来やアしねえ、ヤイ文巴か  
雲齋でも拵へて遣れ、汝  
なんぞにや蜀紅の錦なんぞ

## 新 鯉節出賣

魚屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目(電二三一)

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正	レスト
		れる	シ	シ	シ	サロン
			イ	イ	イ	電二五三番
			酒	喫	食	
			場	茶	堂	

平・田町

すばらしい新型の  
婦人子供服豊富  
一流デパート専屬の婦人子供服製  
造元よりの直仕入たる新型服は店  
内豊富に陳列してございます。夜  
の御散歩には是非店内を御自由に  
御覽下さい。  
平町二丁目  
山家メリヤス店  
電話六〇五番

### 開業 整形 専門

## 大河内整骨院

平町搔槌小路四  
番  
醫學士 大河内一郎

電話六四〇番  
皆様のタクシーへ  
此度は夏にふさはしいすがくしい色  
彩のニーアクシオン式新車が入車致し  
ました。自動車の御用命はチリンチリ  
ン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車  
と共に従業員一同御待ち申して居りま  
す。新車も揃ひましたから遠乗の御用  
には特に御相談に應じます。  
尼子タクシー  
電話六四〇番